

スーパーマーケット景気動向調査

2015年7月調査結果（6月実績）

（7月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

7月調査（6月実績）結果概況

景気判断DIは2ヵ月連続で下降も、現状判断は50を上回る水準を維持

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-3.5の51.4、見通し判断前月から-2.1の49.2となり、2ヵ月連続で下落した。現状判断は依然として50を上回る水準を維持しているものの、見通し判断はわずかに50を下回った。

経営動向調査結果では、日曜が一日少ない影響や天候不順で来客数DI-4.5（-7.9）が減少したことに加え、気温が前年に比べ低く推移した影響を受け、売上高DI2.7（-11.7）、収益DI2.2（-7.3）と大きく減少する結果となった。生鮮仕入原価DI、食品仕入原価DIが高止まりを受けて、販売価格DIは高水準を維持しているが、客単価DIは9.2（-5.0）とやや減少した。

カテゴリ動向結果も同様に前述の影響を受け、すべてのカテゴリでDIが大きく減少する結果となった。（個別のカテゴリ動向については最終ページに掲載）

景況感調査は全体的に低調な結果となっているが、4月と5月の追い風から、6月は一転して逆風にみまわれたなかで、落ち込み幅は比較的小さく、競合状況DIを除けば、いずれも50前後の水準を維持している。特に店舗周辺地域景気判断DIは前月とほぼ同水準となっていることから、12月以降の堅調なトレンドは引き続き維持されていると考えられる（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）。

一方で、今夏はエルニーニョ現象の発生による冷夏や豪雨等の異常気象が警戒されており、その影響は今後のリスク要因として懸念される。

景況感調査

現状判断

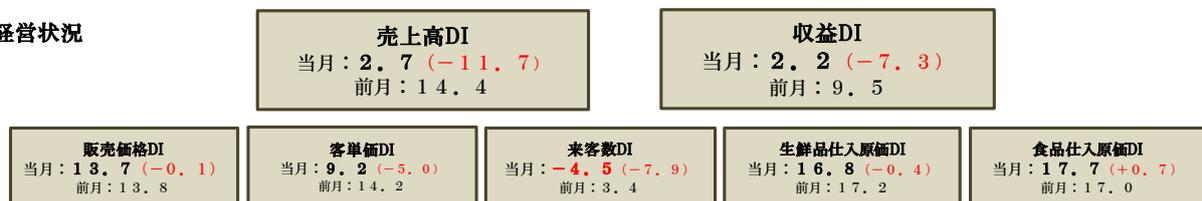


見通し判断



経営動向調査

経営状況



カテゴリ動向



○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

7月調査（6月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

引き続きプラスを維持も大きく下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	1.8	12.8	19.9	57.1	8.4	14.4
売上高（当月）	3.9	24.7	30.9	37.6	2.8	2.7



2. 収益DI

引き続きプラスを維持も大きく下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	3.2	12.2	34.7	43.7	6.3	9.5
収益（当月）	5.7	23.0	33.3	32.8	5.2	2.2



3. 販売価格DI

仕入れ価格の上昇により高水準を維持し、23ヵ月連続のプラス

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	4.0	37.5	57.6	0.9	13.8
販売価格（当月）	0.0	5.1	34.9	60.0	0.0	13.7



4. 客単価DI

引き続き高い水準を維持するもやや下降

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	6.7	31.6	60.0	1.8	14.2
客単価（当月）	0.0	14.7	34.5	50.3	0.6	9.2



5. 来客数 DI

2ヵ月連続のプラス圏内からマイナス圏に下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.4	22.6	32.3	36.3	4.4	3.4
来客数 (当月)	4.0	38.1	30.7	26.7	0.6	-4.5



6. 生鮮仕入原価 DI

青果・畜産・水産の相場高により高水準を維持

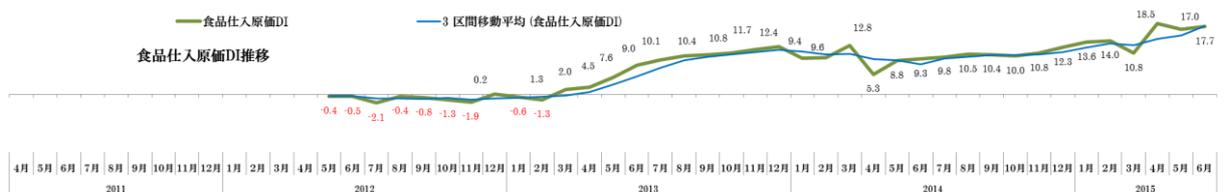
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	2.7	30.5	60.5	5.9	17.2
生鮮仕入原価 (当月)	0.6	4.0	28.3	61.8	5.2	16.8



7. 食品仕入原価 DI

引き続き高水準を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.4	2.3	27.3	65.0	4.1	17.0
食品仕入原価 (当月)	1.1	2.9	24.1	67.8	4.0	17.7

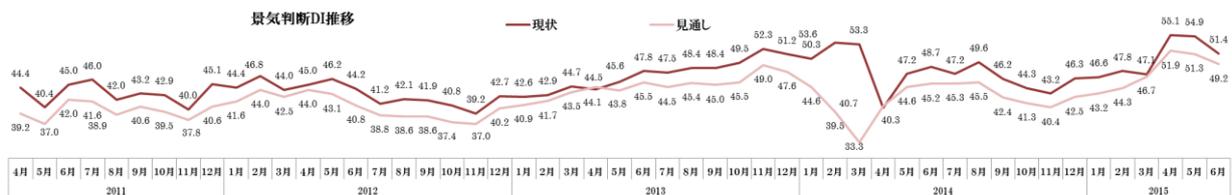


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

2ヵ月連続で現状・見通し判断ともに下落、見通し判断は50を割り込む

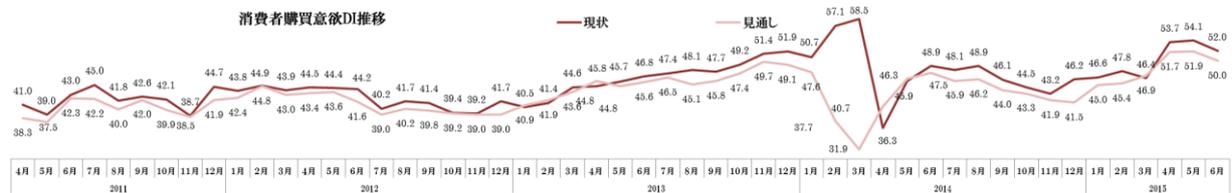
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.8	5.8	63.7	28.3	0.4	54.9
【現状】景況判断 (当月)	1.1	13.6	65.0	19.2	1.1	51.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	2.2	12.9	63.1	20.9	0.9	51.3
【見通し】景況判断 (当月)	1.1	18.5	63.5	16.3	0.6	49.2



2. 消費者購買意欲 DI

現状・見通し判断ともに下落

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.3	6.2	67.6	24.4	0.4	54.1
【現状】購買意欲 (当月)	0.6	10.7	69.5	18.6	0.6	52.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.3	7.6	74.2	16.0	0.9	51.9
【見通し】購買意欲 (当月)	0.6	12.9	73.0	12.9	0.6	50.0



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

大きな変化はなく横ばい傾向

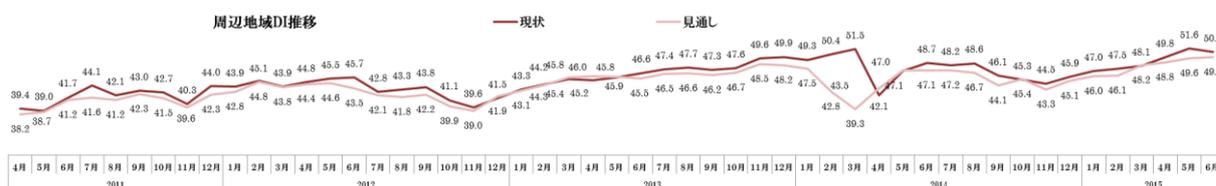
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.7	15.6	74.2	7.6	0.0	46.7
【現状】競合状況 (当月)	1.1	18.6	75.1	5.1	0.0	46.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.3	17.8	72.4	4.4	0.0	44.0
【見通し】競合状況 (当月)	3.4	19.7	73.0	3.9	0.0	44.4



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は小幅な下落も、見通し判断は堅調さを維持

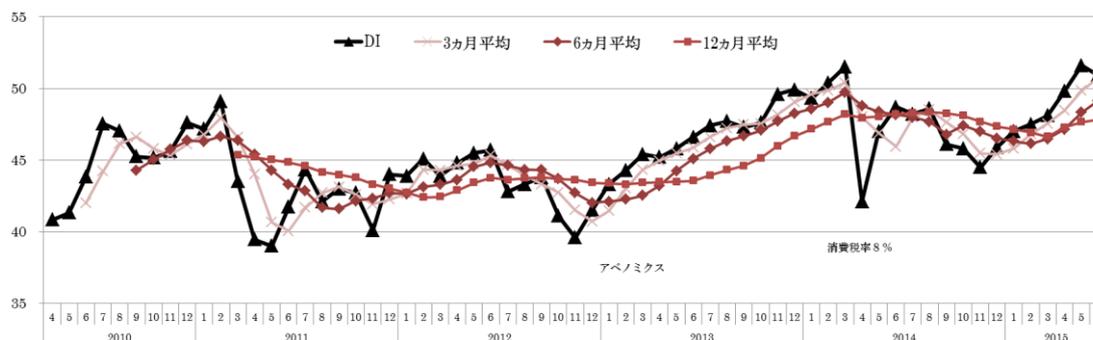
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.9	6.7	77.7	14.7	0.0	51.6
【現状】地域景気 (当月)	0.0	6.3	84.1	9.7	0.0	50.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	0.9	10.8	77.6	10.8	0.0	49.6
【見通し】地域景気 (当月)	0.0	9.0	82.5	8.5	0.0	49.9



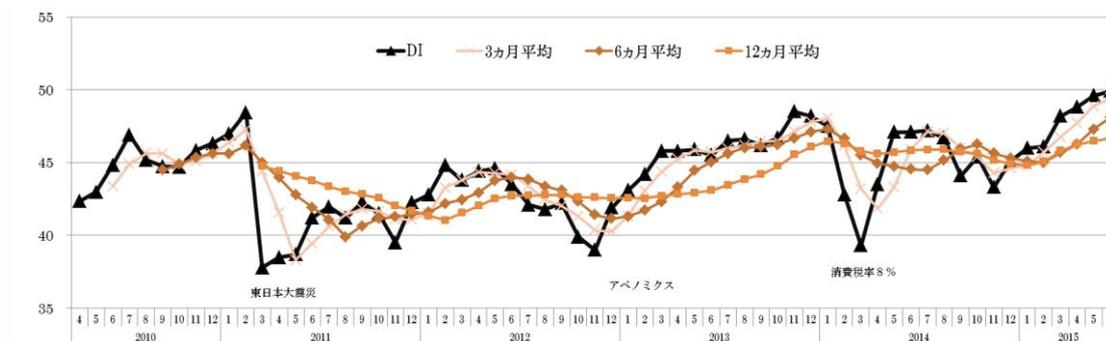
長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を一本調子に続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。その後、5月に持ち直すものの、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月では再び下落となった。消費税率引き上げ後、3ヵ月周期でトレンドが変化し、方向感の見えにくい状況であったが、12月以降は6ヵ月連続の改善となり、2010年の調査開始以降で最高水準にまで上昇をみせた。直近では、現状判断は小幅に下降したものの、見通し判断は小幅な上昇となっている。いずれの移動平均線もプラスで推移を続けており、依然として堅調な推移を維持していると考えられる。

現状判断 (中長期傾向)



見通し判断 (中長期傾向)



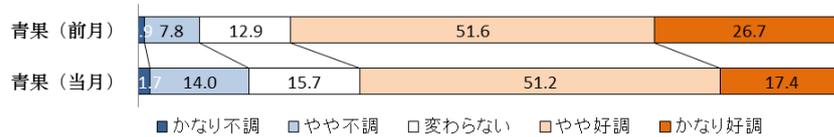
Ⅲ. カテゴリー別動向

カテゴリー別動向 DI による好不調判断

かなり好調：20 以上・好調：10～20・やや好調：0～10

かなり不調：-20 以下・不調：-20～-10・やや不調：-10～0

1. 青果 DI：17.2（好調）



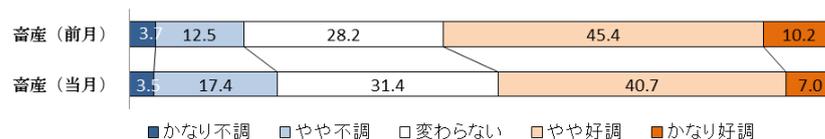
青果相場や果実が高値で推移した影響により好調となった。野菜については特に葉物野菜が高騰しており、販売数量が維持されたかどうかによってやや判断がわかれている。比較的相場の安定している菌類を好調にあげるコメントが多い。果実に関しては、カットフルーツを含め好調とするコメントが多くみられた。

2. 水産 DI：1.6（やや好調）



前年に比べると気温がやや低くなったことで、刺身類などが不調であった一方で、うなぎは好調とするコメントが多くみられた。日曜日が一日少ない影響を受けた店舗も多くみられた。

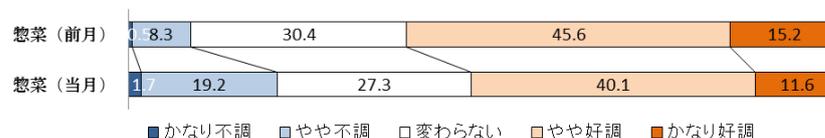
3. 畜産 DI：7.6（やや好調）



精肉相場が高い状況が続いており好調となっている。相場の高い牛肉に代わり、豚肉や鶏肉が好調とのコメントが多くみられた。日曜日が一日少ない影響を受けた店舗も多くみられた。

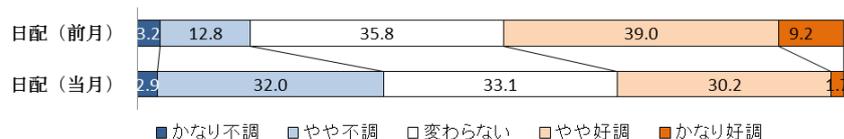
4. 惣菜 DI：10.2（好調）

天候不順や気温の変化により、好不調まちまちの結果となっているが、各社とも新メニューや夕方出来立て等の取組み成果がみられている店舗もみられる。人手不足により対応が難しいというコメントも散見されている。



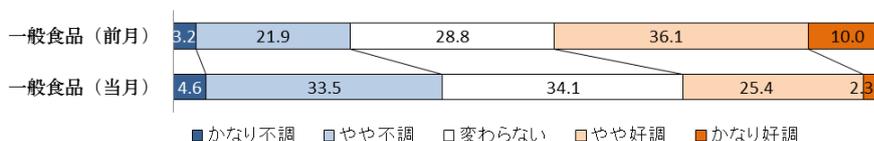
5. 日配 DI：-1.0（やや不調）

前年に比べると気温がやや低くなったことで、アイスクリームをはじめとする夏物商材が不振となった一方で、前年不振だった商品は好調となったものの、天候不順や日曜日が一日少ない影響による客数の減少でカテゴリー全体ではやや不調となった。



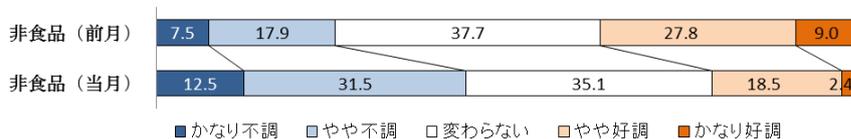
6. 一般食品：-3.2（やや不調）

前年に比べると気温がやや低くなったことで、飲料をはじめとする夏物商材が不振となり、加えて米の単価下落の影響をうけた。天候不順や日曜日が一日少ない影響による客数の減少でカテゴリー全体ではやや不調となった。



7. 非食品 DI：-8.3（やや不調）

前年に比べると気温がやや低くなったことで、夏物衣料や殺虫剤等の夏物商材が不振となり、天候不順や日曜日が一日少ない影響による客数の減少でカテゴリー全体ではやや不調となった。他業態との価格競争の厳しさを指摘するコメントが多くみられた。



2015年7月調査（6月実績）キーワード TOP3

1. 天候不順（降水、前年より気温低下）
2. 日曜日が一日少ない
3. 地方プレミアム商品券

スーパーマーケット景気動向調査

6月実績速報版集計 178社
5月実績確報版集計 226社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp